

アオダイショウ *Elaphe climacophora*



場所：園内全域の道端、林縁、石垣など

頻度：★★★（最もよく見られる）

特徴：100～200cmと大型で、色は黒から緑まで。

幼蛇にはマムシと似た模様があり、間違えやすい。

無毒だが、身を守るために噛むことがあるので注意。

シマヘビ *Elaphe quadrivirgata*



場所：園内全域の道端、林縁、石垣など

頻度：★★（よく見られる）

特徴：80～150cmと中型で細長い。

通常、淡いわら色に4本の黒い筋があることが特徴。

無毒だが、気性は荒いので無用に近付かないように。

ヤマカガシ *Rhabdophis tigrinus*



場所：自然館中庭、田んぼ、池の周辺など

頻度：★★（よく見られる）

特徴：70～150cmと中型で、赤と黒の複雑な模様。

両生類を好むため、水辺にいることが多い。

奥歯に毒を持つので、絶対に近付かないこと！

ニホンマムシ *Gloydius blomhoffii*



場所：築池周辺、外周緑地などで記録あり

頻度：★（稀に見られる）

特徴：45～80cmと小型だが、胴が太くて短いのが特徴。

頭は平たくて大きく、**全身に銭型模様**がある。

出血毒を持つため、**絶対に近付かないこと！**

ジムグリ *Elaphe conspicillata*



場所：雑木林トレイルや長池周辺で記録あり

頻度：★（稀に見られる）

特徴：70～100cmと中型で体はやや太め。

通常、**赤みがかった茶色**に**黒い斑点**がある。

無毒で、人を噛むことは滅多に無い。

タカチホヘビ *Achalinus spinalis*



場所：尾根幹線沿いで一度だけ記録あり

頻度：☆（ごく稀に見られる）

特徴：30～60cmと小型で、大きなミミズのように見える。

無毒で、**背中に1本の黒い筋**があることが特徴。

夜行性のため、昼間は地中にいることがほとんど。

ヒバカリ *Amphiesma vibakari*



場所：園内での記録はまだ無し

頻度：×（生息の可能性あり）

特徴：40～65cmと小型で、淡い黄土色～茶色。

首の白い襟模様と口から喉にかけての斑紋が特徴。

近隣の縁地では普通に見られる無毒のヘビ。

シロマダラ *Dinodon orientale*



場所：園内での記録はまだ無し

頻度：×（生息の可能性あり）

特徴：35～70cmと小型で細長い無毒のヘビ。

黒と赤の斑模様は独特で、見間違うことは無い。

夜行性のため、昼間に出会うことはごく稀。

「もしもヘビと出会ったら？」

長池公園周辺には、本州で見られる全てのヘビが生息しています。遭遇率や危険性は種によって異なりますが、予期せぬ接近遭遇を防ぐため、また、万一噛まれた時には噛まれた種類の特定がもっとも重要になることから、このガイドであらかじめ種類を覚えておくと良いでしょう。

①ヘビを見かけたら・・

距離が充分に離れていれば、ヘビのほうから襲ってくることはまずありません。3m程度の距離を保ったまま、ヘビのほうから立ち去っていくのを落着いて待ちましょう。

②ヘビと接近遭遇したら・・

ヘビが潜んでいるヤブや草むらに、道を外れて入らないことが第一です。しかしその存在に気が付かず、間近で遭遇してしまうことも少なくありません。そんな時はヘビの動きを慎重に観察しつつ、落着いてその場から離れましょう。なにより、緊張状態のヘビを刺激しないことが一番です。

③ヘビに噛まれたら・・

慌てずにヘビから離れて安全な場所へ移動します。

可能な限り、噛まれたヘビが毒ヘビかどうかを見ておきます。

患部を動かさないようにして、速やかに病院へ行きましょう。

圧迫したり、冷やしたり、傷口を切ることはご法度です。

自力で病院に行くことが難しい場合は救急車を要請するか、長池公園自然館（042-678-4616）までご連絡下さい。